

# 月経衛生啓発デー活動報告



## プロジェクト報告書

(2022年8月16日)

## 目次

用語 / 略語 .....	2
はじめに .....	3
ナグルスラムツアー .....	3
学校運営者とのミーティング .....	3
クラブメンバーとのミーティング .....	4
グループからの発表 .....	5
布ナプキンの配布 .....	5
テラーセンターの立ち上げ .....	6
婦人会とのミーティング .....	6
おわりに .....	7

## 用語 / 略語

VLF	ビジョナリーレディ財団
GBN	グローバル・ブリッジ・ネットワーク
WASH	水と衛生 (Water, Sanitation and Hygiene)
MHHM	月経時の健康と衛生管理 (Menstrual Health and Hygiene Management)
CSOs	市民社会組織
NGO	Non-Governmental Organisations
SRH	性と生殖に関する健康 (Sexual Reproductive Health)
SRHR	性的生殖に関する健康と権利
HIV	Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス)
AIDS	後天性免疫不全症候群
Qn.	質問

ウィニー・ナカツデ (報告者) - ビジョナリーレディ財団

## はじめに

月経衛生は女性と女兒の尊厳と福利の基本であり、すべての女性と女兒が権利を有する基本的衛生、公衆衛生、リプロダクティブ・ヘルス・サービスの重要な部分である。しかし、月経中の女性や少女が「汚れている」、「不潔である」という考えをはじめとする多くの否定的な文化的背景が関連し、月経はタブー視されることが多い。

ビジョナリーレディ財団 (Visionary Lady Foundation) は、ウガンダのパリサ県や都市であるカンパラなどの地区で、月経衛生管理プロジェクトを実施しており、2022年8月16日、グローバル・ブリッジ・ネットワーク (GBN) の資金提供者とともに、5年以上拠点を置いているカンパラ市、ナグル教区にあるナグル初等学校・初等学校

(Naguru Creative infant nursery and primary school) でアウトリーチを実施した。この活動の主な目的は、女子生徒、教師、保護者、教育委員会の月経衛生管理の問題に対する理解度を把握し、学校で生理中の女子に影響を与える要因、改善されない月経衛生管理が女子に与える影響（授業の集中力低下やドロップアウトなど）を調査すること、さらに、学校や地域社会全体が、月経が起こっている女の子にやさしい環境を提供しているかどうかを確認することであった。学校内で女子に影響を与えている様々な障害を理解することで、スラムにある学校の女子生徒の成績を向上させることができる。

## ナグルスラムツアー

ナグルのスラム街でのツアーは、他の活動をする前の午前中に実施した。ツアーは、この地域に精通したディレクターと学校の教頭が引率し、飛び越えなければならない大きな排水溝や、狭い路地もすべて案内してくれた。視察中には様々な家族と交流したが、その多くはシングルマザーの家庭であり、これまでどのように一人で家庭を守り、子どもたちを教育してきたか、その困難な道りを語ってくれた。彼女たちは、自宅敷地内で野菜の販売などを行っているが、得られる収入は少なく、暮らしと子どもの教育を一人で担うことが困難な状況であることを明かした。また、月経の健康管理について知っていることや、娘たちに対してどのように対処しているのかを尋ねた。回答はポジティブなものであったが、経済状況から生理用品を購入するための十分な資金がないという課題を抱えていた。

## 学校運営者とのミーティング

学校運営者は、緊急用の月経用品は学校の優先事項や予算には含まれていないことが一般的であると述べた。取材した教育委員会と教師は、緊急用の使い捨て生理用品、ごみ箱、焼却炉などは高価であるため、これまでMHMのための計画や予算配分をしたこ

とがないことを明らかにした。そのため、学校は保護者に責任を委ねていたが、保護者もまた生活維持や学費の対処で精一杯である。



GBN&VLF が学校の運営者と打ち合わせ

また、学校の運営陣は、親が娘に月経の健康管理について十分な教育を行っていないことも明らかにした。これは、家庭で月経を話題にすることを避けたり、恥じたりすることに関連しており、地域社会全体でもこの議題について議論されたことがない。親はこの問題を学校の教師に任せきりにしているが、親の関与がなければ、学校での対応もより困難なものになる。

運営陣が取り上げたもう一つの問題は、学校の月経衛生管理の施設が不十分かつ貧弱で、安全性にも欠けていることであった。訪問した学校でも、水、プライバシーを守るための更衣室、石鹸などの十分な水と衛生（WASH）の設備はなく、学校で使用可能な設備は女子生徒にストレスや危害を与えるほど非常に状態が悪いものであった。グループディスカッションでは、学校や家庭に適切な設備がないため、自分が腐った卵のようなひどい臭いがするように感じ、恥ずかしい思いをすることや、制限されていると女子生徒たちが感じていることが明らかとなった。そのため、彼女たちは月経が終わるまで学校に行かず、家で孤立することを選んでしまう。

## クラブメンバーとのミーティング

ナグル初等学校には5年ほど前にビジョナリーレディ財団が同校に加盟して設立された女子生徒向けのクラブがある。生徒たちは、どのように月経の健康管理をしているか、体験談を話してくれた。ほとんどの女子生徒は生理に関する要望を伝えたり、生理が始まった際に助けを求めたりすることに対しとても恥ずかしく感じており、勉強を続けられるよう学校で助けを求めるよりも、家に帰る方がずっと楽なのだという。また使用済みの布巾や生理用ナプキンなどの廃棄物の管理に関する問題にも直面していることが明らかになった。女子生徒たちは、使用済みの布をトイレに直接捨てるか、スクールバッグに入れて家に持ち帰っているが、カバンや教科書に臭いが移ることもある。また、男

子生徒は女子のカバンをチェックし、生理用品などを見てからかったり、困らせたりすることもある。

“月経に関する健康は人権です。少女たちは、尊厳を持って月経を迎えることができるような、偏見のない環境を必要としています。”

-- デイジー・アルトゥン

## グループからの発表

月経衛生クラブの生徒たちは、学校で少女たちが直面する問題を表す寸劇／演劇を発表した。寸劇では月経の健康問題に関して、学校内のさまざまな関係者の役割を示すとともに、その問題によって少女たちが学校を退学してしまう様子も描かれた。ほとんどの少女は、学費や学用品が不足していることに加え、生理が始まることを恥じて学校をやめてしま

うのだ。これは、血痕を見た級友や他の女子生徒からも笑われるからだ。その結果、彼女たちはやる気を失い、学校を退学してしまう。

## 布ナプキンの配布

カンパラのスラム街では、使い捨ての生理用品は手頃な価格ではなく、簡単に手に入れることはできない。インタビューを行った女子生徒のほとんどは、服の切れ端や古いタオル、毛布などの布切れを使って月経血の処理をしているが、これらの素材では血が漏れ、服を汚してしまうため、生理用品としては不十分であり満足していないようだった。市販の使い捨て生理用品は、主に親から経済的な援助を受けている少女たちの間で使われている。

日本からの支援団体であるグローバルブリッジネットワーク（GBN）のインターン生の支援により、そのような困っている少女たちを救うために、1年以上使い続けられる再利用可能な生理用ナプキンを提供した。この生理用ナプキンは柔らかく、洗濯も簡単で、硬い衣類を洗う気力のない若い女性にも扱いやすい。

## テラーセンターの立ち上げ

“月経は女性だけの問題ではありません。私たち全員の問題なのです。月経衛生の統合は、女性の意思決定への参加が少ないことが主な原因となり、まだ最小限にとどまっています。私たちが女性の参加に関する問題に取り組めば、女性がより機会を得られる環境を作り出せるでしょう。貧困を減らすことができれば、女性の参加も増え、世代間性差、10代の妊娠、児童婚、強制結婚、ジェンダーに基づく暴力も減ります。”

た。

また、再利用可能な生理用品を作るなど、月経にまつわる課題を解決するために、テラーセンターを立ち上げた。これは、グローバル・ブリッジ・ネットワーク（GBN）のインターン生がミシンを提供することによって実現した。ミシンは、保護者が使用し、学校運営委員会と学校の月経衛生クラブが維持管理することになっている。

GBNのインターン生は、その場で活動を開始できるように、学生や保護者に機械の操作方法を実演した。機械がどのように動くかを学んだ生徒の中で、再利用可能な生理用品を作ることで、使い捨ての生理用品にかかる費用を節約できることを教えてくれた生徒もい

## 婦人会とのミーティング

この婦人会は、生徒の母親と女性教師が中心となり、学校での女子生徒の健康を守るために活動している。また、生徒が自分の専門分野に従ってキャリアを形成していけるよう、進路を相談できる場としても機能している。ミーティングでは女子生徒の問題点についても言及された。“月経は女性だけの問題ではありません。私たち全員の問題なのです。月経衛生の統合は、女性の意思決定への参加が少ないことが主な原因となり、まだ最小限にとどまっています。私たちが女性の参加に関する問題に取り組めば、女性がより機会を得られる環境を作り出せるでしょう。貧困を減らすことができれば、女性の参加も増え、世代間性差、10代の妊娠、児童婚、強制結婚、ジェンダーに基づく暴力も減ります。”との発言があった。

## おわりに

月経の健康管理の問題は、スラム街の人々にとっては非常に大きな問題である。恥ずかしさなど月経を理由に退学してしまう女子生徒が初等学校や中等学校で増加している。ビジョナリーレディ財団とグローバル・ブリッジ・ネットワーク（GBN）は地域住民を常に学校活動に参加させることを推奨しており、そうすることで少女たちが月経の初期に経験するリスクや課題を軽減できると考えている。

Time/Duration	Session	Session Objectives	Responsible Person
9:30am-11:30am	<ul style="list-style-type: none"> <li>Registration and setting pace &amp; introductions</li> </ul>	To capture names and designations of all participants	VLF & Teacher Clare
11:00am - 12:00pm	<b>Meeting with school administration</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Introduction</li> <li>Objectives of the meeting &amp; Share Expectations</li> </ul>	To enable participants understand the goal of the meeting, share expectations and assess knowledge gaps in key areas	Head teacher & VLF
12:00am -1:00pm	<b>Naguru Slum Tour</b> -To see and understand the slum environment	To enable participants, explore and understand slum live	Head teacher & Teacher Clare
1:15pm -4:45pm	<b>Meeting students/School Club Management</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Club presentations</li> <li>Talking to students about MHM</li> <li>Giving students Reusable pads &amp; Zoom Call</li> <li>Handing Tailoring Machines to Visionary Club</li> </ul>	To enable students understand interact and share experiences with Japanese students about MHM	VLF & Global Bridge Network
4:45pm -5:00pm	<b>Meeting Women Group</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Understand the women activities</li> </ul>	To enable the women to share their experiences	Group Chairperson/Head teacher
5:00pm -5:30pm	Closing Remarks	Summarise the day's events and share the project way forward	VLF



ビジョナリークラブメンバー



スラムツアーの様子



学校運営陣との集合写真



インターン生と校長先生とのミーティング





